

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		地域で暮らす子どもを支える実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	(1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	前期	教室名	実習施設
担 当 教 員		日下部 麻美	実務経験とその関連資格	看護師として小児科病棟に勤務していた。			
《授業科目における学習内容》							
実習を通して、健康な乳幼児期の子どもの成長・発達と、健全な成長・発達を促すための保育のあり方について理解し、安全に配慮して子どもと家族を尊重した関わりを学ぶ。また、鳥取市(県)で行われている子ども子育て支援受業の概要と役割を理解し、子育て支援の必要性を理解する。							
《成績評価の方法と基準》							
1) 実習評価の対象および単位認定は出席状況が実習全期間2/3以上の出席が必要である。 2) 実習の評価については、実習態度・実習内容・カンファレンス参加状況により、総合的に指導者と担当教員が評価する。 3) 評価基準については①看護を学ぶこと、対象への関心・意欲、学ぶ姿勢、態度 ②看護実践を考える思考・判断 ③看護の基本的な技術・表現 ④看護活動に対する理解・知識の4つの観点で分類し、さらに実習の目標に沿った学習活動から評価項目を抽出し、評価する(詳細は実習要綱を参照)。 4) 評価は100点満点とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
小児看護学概論 小児臨床総論、小児看護学各論							
《授業外における学習方法》							
①小児援助論で事例による看護過程の展開演習(成長発達の理解、対象理解、記録の書き方) ②実習オリエンテーション(実習要綱に沿って実習概要の説明、実習施設の紹介、注意事項)							
《履修に当たっての留意点》							
実習要綱に沿い事前学習や準備を行い、実習に臨むこと。 事前に場所の確認、公共交通機関の確認を行う。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	①保育所のオリエンテーションから、保育所の構造や施設の概要について知る。②対象となるクラスの乳幼児と関わり、年齢別の特徴や留意点、クラスの日課や生活スケジュールについて知る。		所持している教科書・参考書 小児看護学に関する授業資料まとめファイル	実習要項に提示されている事前学習をまとめる。 受け持ちクラスの成長発達段階について、まとめる。 実習を通して必要な事前事後学習を行う。	
	各コマにおける授業予定	保育所実習《クラスでの実習》 保育所オリエンテーション 保育士の指導のもと、子どもたちと関わる					
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	①乳幼児の成長発達段階を三側面の視点から観察する。②保育士の指導のもとで子どもに関わり、子どもの反応を観察し、その意味を考えることができる。		所持している教科書・参考書 小児看護学に関する授業資料まとめファイル	受け持ちクラスの成長発達段階について、事前学習欄の不足分を追加する。 実習を通して必要な事前事後学習を行う。	
	各コマにおける授業予定	保育所実習《クラスでの実習》 保育士の指導のもと、子どもたちと関わる 保育所実習最終カンファレンス					
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域で生活している健康な子どもと家族の生活を理解する。 子どもと家族を取り巻く社会の状況の中で、地域における子ども子育て支援受業の概要と役割を理解し、子育て支援の必要性を理解できる。		所持している教科書・参考書 小児看護学に関する授業資料まとめファイル	受け持ちクラスの成長発達段階について、事前学習欄の不足分を追加する。 実習を通して必要な事前事後学習を行う。	
	各コマにおける授業予定	地域で実際に行われている母子保健活動を学び、地域背生活している子どもと家族の理解を深める。地域で行われている子ども子育て支援受業の概要と役割を理解し、子育て支援の必要性を理解する。					
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域で生活している健康な子どもと家族の生活を理解する。 子どもと家族を取り巻く社会の状況の中で、地域における子ども子育て支援受業の概要と役割を理解し、子育て支援の必要性を理解できる。		所持している教科書・参考書 小児看護学に関する授業資料まとめファイル	地域実習について事前学習を行う(地域の取り組みや制度等)。	
	各コマにおける授業予定	地域で実際に行われている母子保健活動を学び、地域背生活している子どもと家族の理解を深める。地域で行われている子ども子育て支援受業の概要と役割を理解し、子育て支援の必要性を理解する。					
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習で得られた学びを表現できる。		所持している教科書・参考書 小児看護学に関する授業資料まとめファイル	臨地実習の学び・思考のまとめ	
	各コマにおける授業予定	実習で経験したことや体験したことを個人・グループで振り返る。 目標に対しての学びの発表・意見交換を行い学びを深める。					